

放課後子供教室 アンケート 構成・設問設置意義と目的

	No.	設 問	選択肢	設問意義・捉えの方向性
リード文		西東京市では現在、校庭・体育館開放や工作・スポーツ教室等学習活動の機会提供プログラムを行っている「放課後子供教室」について、今後のあり方を検討しています。 本アンケートは、本市の小学校に通うお子さん及び保護者の方に、本市が実施している放課後子供教室についてお伺いし、あり方を検討する上で参考にさせていただきたく実施するものです。（設問数：8～12問） ※お子さんに向けた設問については、保護者の方から、できる範囲でお子さんのお声を聞いて入力いただきますよう、ご協力をお願いいたします。 ※ご世帯で複数のお子さんが小学校に通学している場合は、お手数ですが1名ずつの回答にご協力いただきますよう、お願いいたします。		
基礎情報	Q1	お子さんが通う学校名を教えてください。	(1)田無小学校～(18)けやき小学校	どの小学校の児童かを知ることで現状の認知度やニーズをつかむ。今後の対応の検討に要する 基礎情報
	Q2	お子さんの学年を教えてください(お子さんが複数いらっしゃる場合は複数選択してください。)	(1)小学2年生 (2)小学4年生 (3)小学6年生	学年を知ることで低学年・中学年・高学年ごとに現状の認知度やニーズをつかむ。今後の対応の検討に要する 基礎情報
認知度	Q3	(保護者の方へ) 放課後子供教室(校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラム)を知っていましたか。	(1)校庭・体育館開放だけ知っていた (2)学習活動の機会提供プログラムだけ知っていた (3)校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラムの両方とも知っていた (4)校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラムの両方とも知らなかった	放課後子供教室のうち校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラムの保護者の認知度について、小学校別、学年別に分布を把握することができる。
	Q4	(お子さんへ) 放課後子供教室(校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラム)を知っていましたか。	(1)校庭・体育館開放だけ知っていた (2)学習活動の機会提供プログラムだけ知っていた (3)校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラムの両方とも知っていた (4)校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラムの両方とも知らなかった	放課後子供教室のうち校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラムの児童の認知度について、小学校別、学年別に分布を把握することができる。
現状	Q5	(お子さんへ) 放課後子供教室(校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラム)を利用したことがありますか。(いずれか一つでもある場合は「(1)ある」をお選びください)	(1)ある(Q5-1とQ5-2へ) (2)ない(Q5-3へ)	児童の参加経験について、小学校別、学年別に分布を把握することができる。
	Q5-1	(お子さんへ) 放課後子供教室(校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラム)を利用したことがある場合、どのくらいの頻度で利用していますか。	(1)週3回以上 (2)週1～2回程度 (3)月1回程度 (4)数か月に1回程度	Q5で「(1)ある」とした児童の参加頻度を知ることにより、どのくらいの頻度で利用されているかについて、小学校別、学年別に分布を把握することができる。
	Q5-2	(お子さんへ) 放課後子供教室(校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラム)を利用したことがある場合、平日・土日祝日のどちらを主に利用していますか。	(1)主に平日 (2)主に土日祝日 (3)平日・土日祝日の両方	Q5で「(1)ある」とした児童の平日・土日祝日参加パターンについて、小学校別、学年別に分布を把握することができる。
	Q5-3	(お子さんへ) 放課後子供教室(校庭・体育館開放および学習活動の機会提供プログラム)を利用したことがない場合、利用しない理由を教えてください。	(1)学童クラブに通所しているから (2)習い事や家にいるなど、他に過ごす場所があるから (3)在籍している小学校では放課後子供教室を開催していない日があるから (4)放課後子供教室のことがよくわからないから (5)遊具がない等、不満な点があるから (6)参加したいプログラムがないから (7)その他(理由：)	Q5で「(2)ない」とした児童の、利用しない理由を、学校別・学年別に詳細に把握することができる。
ニーズ	Q 6	(お子さんへ) 今後（これからも）、放課後子供教室に行ってみたいと思いますか。	(1)今後（これからも）行きたい（友達がいれば、遊具があれば等、条件付きを含む）（Q 6-1、6-2、6-3へ） (2)今後（これからも）行きたくない（Q 6-4へ）	放課後子供教室の今後の参加ニーズを児童自身に聞く。小学校別・学年別に把握することができる。
	Q 6-1	(お子さんへ) 今後（これからも）放課後子供教室に行きたいと思う場合、どの内容に行きたいと思いますか。	(1)校庭・体育館開放 (2)学習活動の機会提供プログラム (3)校庭・体育館開放、学習活動の機会提供プログラムの両方	放課後子供教室の今後の参加ニーズの詳細(校庭・体育館開放か、学習活動の機会提供プログラムか)を児童自身に聞く。小学校別・学年別に把握することができる。
	Q 6-2	(お子さんへ) 今後（これからも）放課後子供教室に行きたいと思う場合、主にいつ行きたいと思いますか。	(1)主に平日（理由： ） (2)主に土日祝日（理由： ） (3)平日・土日祝日の両方（理由： ）	放課後子供教室について、児童がどのタイミングで参加を望むのか小学校別・学年別に把握することができる。
	Q6-3	Q 6-2 で選んだ回答の理由		-
	Q6-4	(お子さんへ) 今後、放課後子供教室に行ってみたいと思わない場合、その理由を教えてください。	(1)今後も学童クラブに通所するから (2)今後も、習い事や家にいるなど、他に過ごす場所があるから (3)在籍している小学校では放課後子供教室を開催していない日があるから (4)放課後子供教室のことがよくわからないから (5)遊具がない等、不満な点があるから (6)参加したいプログラムがないから (7)その他(理由：)	Q6で「(2)(今後も)行きたくない」とした児童の理由を、学校別・学年別に詳細に把握することができる。 理由を聞くことで、今後の対応を検討することができる。
フリー意見	Q 7	(保護者の方へ) 放課後子供教室や、放課後の子どもの居場所について、ご意見や考えがあれば教えてください。	自由記載	放課後子供教室全般および子どもの居場所としての自由記載を募ることで、保護者が日頃両者についてどのような意見や考えを持っているかを知る。 小学校別・学年別に把握することができる。
	Q 8	(お子さんへ) 放課後子供教室や、放課後の子どもの居場所について、ご意見や考えがあれば教えてください。	自由記載	放課後子供教室全般および子どもの居場所としての自由記載を募ることで、児童自身が日頃どのような意見や考えを持っているかを知る。 小学校別・学年別に把握することができる。
結び文		貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。 本市における放課後子供教室事業の今後のあり方を検討する上で、参考にさせていただきます。		